



あきらめず努力する大切さを語った蒲池中の中村君

県内の中学生が熱い思いを発表

平成 25 年度少年の主張福岡県大会

県青少年育成県民会議は 8 月 24 日、水の郷ホールで少年の主張県大会を催しました。同大会は、少子高齢化や国際化、価値観の多様化などが進み、広い視野を持って自分の考えを正しく伝える力などを身に付けてほしいと毎年開催。今年は約 1 万点の中から選ばれた 15 人の中学生がステージで発表しました。市内からただ一人出場した蒲池中学校 2 年の中村祐貴君は、「気持ちは自分を成長させる」と題して堂々と発表しました。

市内の中学校が大健闘

第 17 回オクイ旗近県バスケットボール親善大会

筑後地区バスケットボールの発展を目指すオクイ旗近県バスケットボール親善大会が、8 月から 9 月にかけて市内外の各会場でありました。大会は、小学校の部、中学生の部、高校の部に分かれて行われ、県内外から合わせて 82 チームが参加。各会場では、コート上の選手たちへ向けたチームメイトや保護者からの熱い声援が響いていました。中学生の部では、大和中が男女共に優勝。柳城中男子が 2 位、柳南中女子が 3 位に入りました。



コート上では激しい攻防が繰り広げられた

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

柳川を歩いて漕いで再発見

Yanagawa Civic Academy 第 4 プログラム

柳川青年会議所は、市内小学生を対象に 7 月から 11 月まで 6 つのプログラムからなる Yanagawa Civic Academy を開催しています。児童に、柳川の歴史や文化などを学んでもらい、柳川の良さを発見してもらうことが目的。8 月 22 日から 24 日までは、2 泊 3 日の日程で、小学生 19 人が参加して、キャンプで集団生活をしながら、市内の寺社や工場などを歩いて巡るウォークラリーをしたり、カヌーで掘割を巡ったりするなど、普段できない体験で柳川の良さに触れました。



初日は三柱神社で協力しながらテントを張ってキャンプ

火遊びは絶対にしないよ

幼年消防クラブ 防火教室

毎年 9 月 1 日は「防災の日」。市消防本部は、9 月に市内の幼稚園や保育園で防火教室を開きました。9 月 4 日に同教室があったひまわり保育園は、園児 120 人が参加。園児たちは、火遊び防止や火事の恐さを教えるビデオを見たり、消防署職員による講話を聞いたりしました。講話では、消防署職員が服や体に火が付いたときの消し方や、煙の中は鼻や口を手で押さえ、姿勢を低くして進むよう指導。最後に園児たちは「火遊びは絶対にしません」など防火の誓いを元気よく宣言しました。



煙にみたてた布の下を避難する園児

美しい海を残すため清掃に汗

有明海クリーンアップ作戦 2013

有明海の沿岸や川岸などで 8 月 28 日、有明海クリーンアップ作戦が行われました。この清掃活動は、有明海に面する福岡、熊本、佐賀、長崎の漁業関係者や住民、県などが協力して実施。海をきれいにして美化意識を高めようと始まったものです。市内では、各漁港や筑後川、矢部川などの沿岸部周辺で早朝から一斉に清掃。各漁協の組合員や地域住民、ボランティアなど約 1200 人が、ほうきやごみ袋などを手に、空き缶やペットボトル、流木などのごみを拾い集めました。



沖端漁港周辺でごみを拾いきれいにする参加者

俳句

今月の入選作品・課題「秋暑し」
「夾竹桃」

応募総数 108 句

人住まぬ屋敷に今も夾竹桃

古賀俊郎 (新外町)

- | | |
|----------------|--------------|
| 秋暑し見上げる空に鱗雲 | 西山幸子 (垂見) |
| 野の色も秋暑疲れでありにけり | 古賀幸子 (横山町) |
| 秋暑し雲の変化を見て居りぬ | 森 フチエ (弥四郎町) |
| 秋暑し窓を閉めたり開けたりし | 田中位緒枝 (豊原) |
| 裏庭に夾竹桃の咲きほこる | 樽見一枝 (蒲生) |
| 大空に夾竹桃のほえる色 | 大城靖子 (隅町) |
| 追憶に想い出させる夾竹桃 | 松本 操 (吉原) |
| 夾竹桃空の濁を溜めてをり | 池田美幸 (佃町) |
| 秋暑し窓を開けても汗たらり | 武藤博文 (上宮永町) |
| 秋暑し鳴らぬ風鈴手でゆすり | 原田アツ子 (栄) |
| 夾竹桃赤いままに日が暮れる | 後藤正毅 (金納) |
| 柳川の水静もりて秋暑し | 黒田和代 (吉富町) |
| ろうそくも頭を垂れて秋暑し | 廣松ヨシエ (蒲生) |
| 梅干しを口に頬ばり秋暑し | 中原由美 (新船津町) |
| 風もなく窓を開けても秋暑し | 徳永ユツ子 (徳益) |
| かたくなな心ゆるめし夾竹桃 | 松崎やす子 (佃町) |
| 芋虫も金魚も太り秋暑し | 谷 祥子 (柳町) |
| 秋暑し猛暑見舞のふみ届く | 萩尾法子 (七ツ家) |
| 秋暑し衣替えにはまだ早く | 梶島ミツエ (蒲船津) |

【句評】今年の梅雨は、しかしか雨の降ることもなく、暑さのみが印象に残る夏でした。8 月に入ってから、この繰り返しで、秋らしくなつたのはたった数日でした。中国地方の豪雨を思い浮かべるとき、思われた当地方であったのかも知れません。今月の俊郎さんの句。古家を解体し、庭の夾竹桃は残したままに転居。見てはもらえぬ夾竹桃は今に咲きほこっているのがある。

◆選者の句

夾竹桃笑みのもれくる舂子溜り

鬼郎

俳句を募集しています。選者は大曲鬼郎さん。10 月の課題は「地蔵盆」「花野」です。入選作品は 10 月 15 日号に掲載します。
●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX 74・5520)へ、9 月 30 日(※必着)までにお送りください。